

《新入社員・若手社員のための》 仕訳から分かる簿記経理の実務（初級編）

～簿記の仕組み、仕訳から経理業務の基本、決算書の読み方・経営分析までやさしく解説します～

【受講者特典】 受講者の皆様に、松田先生の著書「挫折しない簿記入門」（清文社）を進呈いたします。
（本セミナーのサブテキストとしても使用いたします。）



- 開催日時 2018年5月15日（火）10:00～17:00（開場9:30）
- 開催場所 株式会社プロネクサスセミナールーム（東京都港区海岸1-2-20 汐留ビルディング 5F）
（最寄駅：浜松町駅）
- 【会場URL】 https://p-support.pronexus.co.jp/home/files/html/map/map_tokyo.html
（車椅子でのご来場順路も掲載しております。）
- 講師 松田 修 氏：税理士／松田会計事務所所長 麻布ブレインズ・スクール代表
- 受講対象者 ・新入社員、若手社員の方で、簿記や財務諸表の基本的な知識を習得したい方
・経理財務部門に配属された方はもとより、営業や企画などの部署の方で、簿記経理の知識を業務に活かしたい方
- 講義内容（電卓・マーカーを使用します。13:00～14:00 昼休み、他小休憩有り）

I 簿記の基礎をマスターする

1. 簿記の2つの最終目的をしっかりと理解する
 - (1) 【目的1】今どれだけの利益が出ているか
 - (2) 【目的2】今どれだけの財産があるか
2. 貸借対照表と損益計算書の仕組みと役割
 - (1) 貸借対照表を理解する3つの構造
 - ① 資産とは、現金などのプラスの資産
 - ② 負債とは、借金などのマイナスの財産
 - ③ 純資産とは、資産から負債を差し引いた「正味の財産」
 - (2) 損益計算書に計上されるもの
 - ① 収益とは、売上などの「収入」をいう
 - ② 費用とは、給料・家賃・広告宣伝費などの「経費」をいう
 - ③ 「純利益」と「純損失」の計算方法
3. 簿記を理解する大前提＝「勘定科目」の意味を徹底理解
 - (1) 勘定科目の体系はどのようになっているか
 - (2) 「勘定科目」の内容を徹底理解
4. 苦手意識を持たずに仕訳が理解できる「意外とカンタン仕訳法」
 - (1) 「取引」とは何か
 - (2) 実際に「仕訳」に挑戦してみよう
 - ① 売上はいつ立つのか
 - ② 商品を仕入れたとき売上げるとき
 - ③ 売上代金の回収、仕入代金の支払
 - ④ 備品などの資産を購入したとき
 - ⑤ 銀行から借入れをしたとき
 - ⑥ 利息とともに借入金を返済したとき
 - ⑦ 広告宣伝費や水道光熱費などの費用を支払ったとき
 - ⑧ 給料を支払ったとき
 - ⑨ 出張の際、交通費などを概算払いしたとき

- (3) 経理実務でよくある質問・税務上の仕訳もみてみよう
 - ① 銀行の振込料の処理は
 - ② パソコンなどの購入 — 費用なのか資産なのか
 - ③ 商品が売れなくなったらどう処理する
 - ④ 代金が回収できなくなったらどう処理する
 5. 出納帳・伝票を実際に記入してみよう
 - (1) 現金預金出納帳・入金伝票・出金伝票・振替伝票の記入
 6. 転記を理解し、試算表をマスターしよう
 - (1) 総勘定元帳の説明と転記の方法
 - (2) 合計残高試算表を作成してみよう
- ## II 決算業務をマスターする
1. 「売上原価」を計算する
 - (1) 「売上原価」の計算法とは
 - (2) 「棚卸し」の役割とは
 - (3) 「棚卸し」が不正確だと、利益にどう影響するか
 2. 減価償却の意味と計算方法
 - (1) 機械・車両・備品などの資産はどう費用に配分されるか
 - (2) 減価償却費を「定額法」で計算してみよう
 - (3) 「減価償却」の仕訳をマスターしよう
 - (4) 車輛など固定資産を売却した時の仕訳をマスターしよう

III 決算書の見方・読み方、経営分析入門

1. 「損益計算書」を読む5つの利益
 - ① 売上総利益 ② 営業利益 ③ 経常利益
 - ④ 税引前当期純利益 ⑤ 当期純利益
2. 「損益計算書」を経営分析してみよう
 - ① 売上原価率 ② 売上総利益率 ③ 経常利益率
 - ④ 営業利益に占める正味支払金利の割合
3. 「貸借対照表」の見方・読み方と経営分析
 - ① 資産を見るポイント… 不良資産はどこにかくれているか
 - ② 負債を見るポイント… 返済能力は十分か
 - ③ 純資産を見るポイント… 内部留保は充実しているか

■ セミナーの特徴

社会人として会社の利益の計算、財産の計算など「計数管理」はとても重要です。そして、会社の利益の計算、財産の計算は簿記のスキルを使って計算していきますので、簿記・会計のスキルは早いうちに身につけるのが得策です。

本セミナーでは初めて簿記を勉強する方を対象として、簿記の基礎、勘定科目、仕訳の方法、出納帳や伝票の記入方法から減価償却などの決算業務まで、豊富な練習問題を通じて効率良く学習していただきます。加えて、決算書の見方・読み方、経営分析についても解説いたします。

社会人として会社の数字に明るくなりたいとの理由で決算書を理解されたい方も多いと思います。決算書は簿記の結果作成されますので、決算書を学ぶ際にも簿記から学習の方がより理解が深まります。是非、皆様の参加をお待ちしております。
（裏面へ続く）

■ 講師プロフィール



松田 修 氏：税理士／松田会計事務所所長 麻布ブレインズ・スクール代表

昭和 61 年、税理士試験合格。村田簿記学校講師（法人税法・簿記論担当）として活躍後、辻会計事務所（現 辻・本郷税理士法人）入所。数多くの企業の会計・税務業務や経営相談などを経験し、独立。現在、税理士 松田会計事務所所長、簿記・税務・パソコン財務会計主任者の専門スクール「麻布ブレインズ・スクール」の代表を務めるほか、各種実務セミナー講師としても活躍中。丁寧でわかりやすい解説はもちろんのこと、実務で役立つ事例解説が評判で、受講者から絶大な人気を誇っている。

【主著】「はじめてわかった決算書—プロのコツ」 「勝つ会社—プロのコツ」 「資金繰り改善とキャッシュフロー計算書作成ここがポイント！」 「Q&Aで基礎からわかる固定資産をめぐる会計と税務」 「会社のお金とぎれない！社長の現ナマ経営」 「経理担当者のための税務知識のポイント」 「Q&A国際税務と海外勤務者・非居住者の税金」 ほか多数。

■ 受講料（1名様分—昼食付—）

- ・一般 33,480 円（本体価格 31,000 円）
- ・WTC 会員 24,840 円（本体価格 23,000 円）

■ 定 員 30 名 ※定員になり次第、申込みを締め切らせていただきます。（最少催行人員 5 名）

■ ご持参いただくもの **電卓・筆記用具（マーカーもご持参ください。）**

■ お申込み方法・お支払い方法・ご注意等（FAX でお申込みいただけます。）

- 受講票につきましては、開催日 3 日前までにメールでお送りいたします。
- セミナー当日は受講票メールをプリント出力の上、受付にご提出ください。
※受講料ご入金未済の受講票をお持ちのお客様は、開催日までにお振込みを済ませ、開催日当日受講票に振込金受取書の写しを添付してお持ちください。
- 受講料は、**5 月 2 日（水）までに、下記に記載にされている指定銀行口座にお振込みください。**
なお、開催前日の 17 時までにキャンセルの連絡がない場合は、お振込みいただいた受講料のご返金はいたしかねますのでご了承ください。代理の方のご参加もお受けいたしますので、是非ご参加ください。
※お振込み手数料につきましては、お客様ご負担でお願いいたします。
- 反社会的勢力と判明した場合には、セミナーへのご参加をお断りいたします。
- 講義内容・趣旨等を考慮のうえ、講師と同業の方などセミナーへのご参加をご遠慮いただく場合がございます。
- 大地震発生等の諸事情により、セミナーを中止・延期する場合がございますので予めご了承ください。

銀行振込のご案内

【振込先】 1. みずほ銀行 浜松町支店（普） 5018080 2. 三井住友銀行 浜松町支店（普） 6826026
【振込先口座名】 一般社団法人世界貿易センター東京 イッパンシヤダンホウジンセカイボウエキセンタートウキョウ

FAX でのお申込

..... 申 込 書

- 下記「個人情報の取り扱いについて」に同意いただき、受講申込書にご記入のうえお申込みください。

【個人情報の取り扱いについて】

お預かりする個人情報は、本セミナーに関する事務処理、及びお客様へのサービスの一環として、弊社が取り扱う商品、サービス情報やセミナー情報等についてご案内することを目的として収集し、それ以外に利用することはありません。

また、頂いた個人情報を第三者に提供することはありません。

その他の個人情報取扱い方針につきましては、<http://www.wtctokyo.or.jp/contact.html> をご覧ください。

受講申込書（FAX 用）※申込書にご記入のうえ FAX03-5733-6079 へ

年 月 日

<p>《新入社員・若手社員のための》 仕訳から分かる簿記経理の実務（初級編）</p>			5/15		
ふりがな			TEL		
貴社名					FAX
ご芳名（ふりがな）	部課名	役職名	メールアドレス（ハッキリご記入をお願いします。）		
			@		
請求書発行： 有 無		領収書発行： 有 無			

※ 講義の録音・録画はご遠慮いただいております。ご理解、ご協力をお願いいたします。
※ 上記の内容は、変更になることもございます。予めご了承いただきますようお願いいたします。

一般社団法人世界貿易センター東京 TEL 03-5733-6070 /FAX 03-5733-6079